民報
あばしり
NO.1244
11月24日号
発行所
日本共産党網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三-四四五八
F 四三-四四五七

はたやまキャラバン
野党による連合政権を

11月19日、前衆議院議員のはたやま和也氏が来網しました。

はたやま氏は市内4ヶ所の街頭演説で、『桜を見る会』の安倍首相私物化問題を指摘し、野党は一致団結して徹底追及する。安倍政権を終わらせよう」と訴えました。

それでは、自民党に代わる政権はどうするのかについて「先の参議院選挙で訴えた『憲法、消費税、年金、原発など市民連合と野党が結んだ13項目の共通政策』がある。これを元に、野党連合政権で、▽憲法に基づき立憲主義・民主主義・平和主義を回復する▽格差をただし、暮らし・家計応援第一の政治に切り替える▽多様性を大切にし、個人の尊厳を尊重する―社会をつくりましょう。」と訴えました。

午後は、再編統合を名指しされた小清水町日赤病院を訪問し、発表後の混乱や影響について関係者と懇談しました。

「国会かけある記」
モラル破壊の安倍内閣退陣に

11月18日　参議院議員　紙　智子

国会会期末までは残り1ヶ月を切りました。「桜を見る会」の話題が沸騰しています。10月に公職選挙法違反の疑いで法務大臣、経済産業大臣が辞任。任命責任はあると言いながら責任を取らない安倍総理。疑惑の幕引きを図ろうとした予算委員会で、今度は総理の疑惑が発覚。赤旗の調査を元に日本共産党の田村智子参院議員が追求しました。一言で言えば、公的行事の私物化、税金の私物化が問われています。

安倍総理になって、「桜を見る会」の参加者数が年々増加し、支出がどんどん増えつづけて、かかった税金は予算額の3倍にもなっていました。各界で「功労・功績のある方」を各府省が推薦するといいながら、総理の後援会員を山口から約800人も招待、しかも、前日には高級ホテルで前夜祭を開いていました。安倍事務所がとりまとめていながら「関与していない」ではすまされません。森友・加計問題でも問われた安倍総理の政治の私物化、お友達に優遇する政治が、またしてもやられていました。安倍総理自らの疑惑にもふたをして逃げようとする態度に、「許せない。安倍さんをやめさせて！」と怒りが沸騰しています。モラル破壊の安倍内閣を退陣に追い込もうではありませんか。

先週は、北海道の各地から、医療関係の皆さんが要請に来られました。いのちと向き合う現場で、医師不足、看護師不足の解決、待遇改善への切実な要請の訴えに、真摯に応えられる政治への転換がいよいよ必要です。

松浦さとし奮戦メモ！

11月に入ってから寒さが続き、毎週月曜日の朝の街頭宣伝も寒さが身にしみるようになりました。先週、宣伝カーと軽トラックのタイヤ交換を済ませたので、いつ雪が降っても大丈夫になりました。

今月は、桂陽高校での高校生との出前出張講座&意見交換会や新庁舎建設特別委員会が2回、消防議会2回、議会運営委員会2回など、何かと忙しい日々を過ごしています。

また、今月の下旬には総務経済委員会の正副委員長への議案の説明会も組まれています。そして、12月議会に向けての一般質問の質問項目を村椿議員と打ち合わせをして、分担を決め調査と準備をしなければなりません。

師走を目前にした11月もせわしない日々を過ごすことになりそうです。今月中にやるべきことはやり上げて、師走に向けて頑張ります。

村ちゃんが駆ける

今年の秋はあっという間に過ぎてしまった。皆さんは赤トンボを見ただろうか。私は、アゲハ蝶もミツバチもしばらく見ていない。これも農薬が原因しているのではないか。今、問題になっている「ネオニコチノイド系農薬」は野菜、果物、米、茶など20年前から使用されはじめ、住宅建材やペットのノミ取り、白アリ駆除、殺虫剤、コバエ取りなどに使用されている。EUでは、ミツバチの大量死との関連や子どもの脳への影響があるとし、使用中止している。農薬がミツバチの神経に作用し、巣に戻れなくなるのだ。中国も国内向け農作物には規制をしている。

しかし、日本は残留農薬の基準が緩和され、EUの600倍にもなっている。基準値内だから大丈夫と言っていられない。網走市の農産物に使用されている農薬についても調べなくてはならない。農薬の安全性について真剣に考える時が来ていると思う。

流氷

第30回新婦人道大会に参加してきました。16日の朝7時にバスターミナルを出発し、座席が一番後ろだったので読んでおかなくてはならない新聞を広げ、8ページを一気に読み終えました。そのうちトイレ休憩があるだろうと思っていたら案内がなく、初めてバスの中のトイレを使用してみました。使用してみるとそんなに揺れも感じず、汽車のトイレよりも快適でした。▼翌日の大会には、前衆議院議員の畠山和也さんを含め3人の男性から連帯の挨拶、そして亡くなった会員に黙とうをささげ討論が始まりました。日高線の廃止問題、苫小牧のカジノ誘致問題、釧路の公道を自衛隊の戦車が走行する問題など、安倍政権の悪政が地方を益々苦しめているんだなと実感した発言が続きました。そういう中で新婦人の会員が粘り強く市や町に働きかけている姿も見え、地道に頑張ることの大切さも学べたかな？最後に役員改選で、50代の副会長、40代の人が事務局長になり、北海道本部は益々若返りました。

網走も若返りたいな・・・

K・なおこ

裏面があります

新庁舎建設について
現在の日本共産党網走市委員会の見解です。
お読みください。